

フィラジル[®]皮下注30mgシリンジ(フィラジル[®])を ご自身で注射される方へ

自己注射ガイドブック

監修：広島市立広島市民病院 病院長 秀 道広 先生

ガイドブックについて

このガイドブックは、患者さん、患者さんのご家族にフィラジル[®]の自己注射を正しく安全に実施していただくために、自己注射の手順や注意するポイントについてわかりやすく紹介した冊子です。

本書をよく読んでいただき、もし、不安なことやわからないことがありましたら、主治医、看護師又は薬剤師にご相談ください。



自己注射のわかりやすい手順は動画でも確認できます

<https://www.firazyr.jp/patient/>

動画はこちら ➡



フィラジル®をお使いいただく前に

遺伝性血管性浮腫(HAE)について

「遺伝性血管性浮腫」は英語で「**H**ereditary **A**ngio**e**dema」といいますので、略して「HAE(エイチ・イー・イー)」と呼ばれています。遺伝性血管性浮腫(HAE)のほとんどの患者さんでは、生まれつき、C1インヒビターというタンパク質の量が少なかったり、働きが弱かったりすることが知られています。

その結果、からだの中で「ブラジキニン」という物質が増えます。「ブラジキニン」は「ブラジキニンB2受容体※」にくっつくと、腫れやむくみ(浮腫)を起こしたり、強い痛みを引き起こしたりする作用があります。この「ブラジキニン」が増え過ぎることによって、遺伝性血管性浮腫(HAE)の患者さんに腫れや痛みが起これと考えられています。

※ブラジキニンB2受容体：からだの中の細胞にあるタンパク質の一つで、血管壁の細胞上に存在しています。



フィラジル®について

フィラジル®の成分である「イカチバント」は、化学的に「ブラジキニン」に似た形(構造)をもつように合成された薬物です。そのため、「イカチバント」は「ブラジキニンB2受容体」にくっつくことができます。「イカチバント」は、「ブラジキニン」が受容体にくっこうとすることを競い合うため、「イカチバント」がくっついた受容体には「ブラジキニン」がくっつくことはできません。

つまり、フィラジル®を注射し、体内に「イカチバント」を入れることにより、「ブラジキニン」の作用を抑えることができ、その結果、遺伝性血管性浮腫(HAE)の患者さんの腫れや痛みを抑えることにつながるのです。

用意する物

※フィラジル®のご使用にあたっては、必ず主治医の指示にしたがってください。



自己注射処方キット

●フィラジル®シリンジとシリンジトレイ

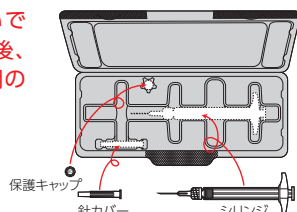


●薬液充填済みシリンジ



シリンジには無色～淡黄色澄明の薬液が入っています。

シリンジトレイは捨てないでください。注射が終わった後、このシリンジトレイを廃棄用の容器として使用します。



●取扱説明書

●注射針

25G×針長16mm(5/8")を推奨



注射針は、フィラジル®とは別に、医療機関から渡されます。実際に渡される注射針はここに示したものと形状が異なる場合があります。使用直前までパッケージから取りださないでください。

治療日誌



消毒綿



ガーゼ又は綿



これらはフィラジル®とは別に医療機関から渡されます。



- ・使用期限は、シリンジトレイとシリンジに記載されていますので、定期的に確認してください。使用期限を過ぎている場合は、絶対に使用しないでください。
- ・薬液は、無色～淡黄色澄明です。異物が入っていたり、変色が認められる場合は、絶対に使用しないでください。



自己注射の手順

準備

注射

注射後

STEP 1

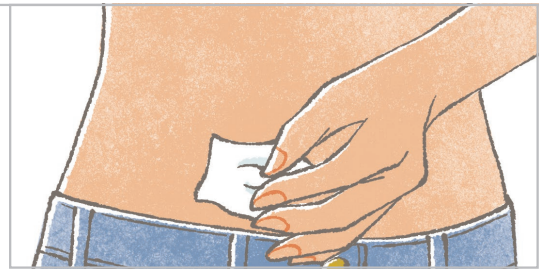
手洗い

自己注射をする前に、石鹸と水で両手をよく洗います。指と指の間、指先、爪の間、手首もよく洗ってください。

STEP 2

注射部位の清浄

おなかの右側か左側の、注射する部位を決めます。へそまわり5cm程度の範囲は避けてください。部位を決めたら、そこを消毒綿できれいに拭きます。乾くまでそのまま待ちます。

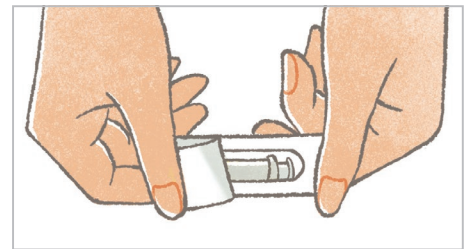


消毒綿はフィラジル®とは別に医療機関から渡されます。

STEP 3

注射針の取り付け

注射直前に、「注射針」のパッケージをシリンジとの接続部(はめ込み部分)が出るところまで開封し、清潔なところに置いておきます。「注射針」を清潔に保つため、開封時や置いている間に、シリンジとの接続部が手やテーブルなどに触れないように注意してください。

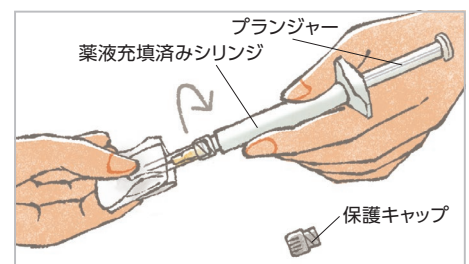


「薬液充填済みシリンジ」の「保護キャップ」を外します。それには、片手で「保護キャップ」を持ち、もう片方は「保護キャップ」の近くを持って、ネジまわしの要領で外します。**プランジャーは持たないでください。」「薬液充填済みシリンジ」から外れてしまうことがあります。**

「注射針」の先端部分をパッケージの外から片手で持ちます。その後「注射針」のシリンジとの接続部が出るように、パッケージの開封した部分を片側ずつ折り返し、つまみなおします。

このとき「注射針」のシリンジとの接続部に触れないように注意してください。

しっかりと「注射針」が保持できたら、残りの手で「薬液充填済みシリンジ」を持ち、「注射針」を「薬液充填済みシリンジ」にまっすぐ装着し、止まるまで回します。



- ・「注射針」はフィラジル®とは別に医療機関から渡されます。
- ・「注射針」を斜めから取り付けないでください。薬液が出なかったり液漏れの原因になります。



- ・あざや腫れ、傷や痛みのある場所のまわり5cm程度は注射を避けてください。
- ・消毒綿で拭いた部位に触れないでください。
- ・使用済みの「注射針」は絶対に使用しないでください。
- ・「注射針」のパッケージが破損している場合には使用しないでください。
- ・「針カバー」は注射する直前まではずさないでください。

準備

注射

注射後

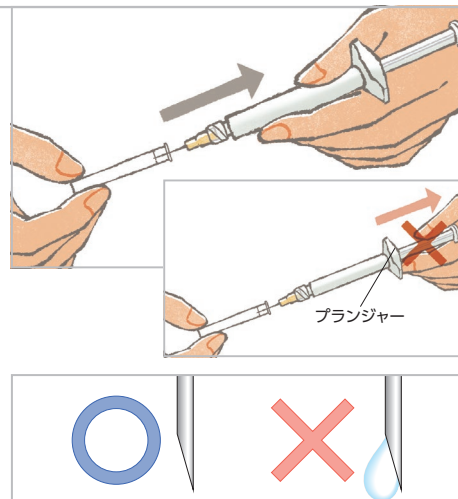
STEP 1

「針カバー」の取り外し

「針カバー」をつかみ、ゆっくり引っ張ってはずします。このとき、針に触れないようにしてください。また、「プランジャー」を引かないようにしてください。

空気抜きをせず、針先から薬液が漏れないようにしてください（皮下には、空気が多少入っても問題ありません）。

「注射針」を曲げたり傷つけたりしないでください。注射時の痛みの原因になる可能性があります。

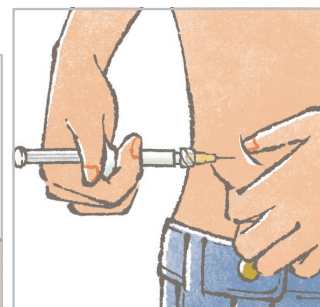
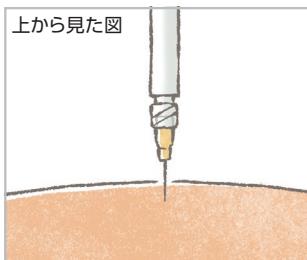


STEP 2

「シリンジ」の持ち方・注射角度

注射する部位の皮膚を片手で軽くつまみます。反対側の手で「薬液充填済みシリンジ」を持ちます。注射する際は、皮膚（からだ）に対してなるべく垂直に打ってください。

上から見た図



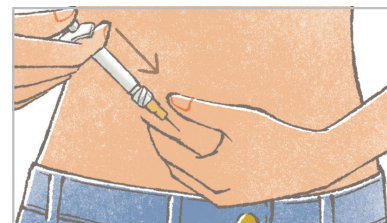
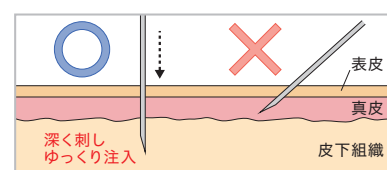
STEP 3

注射のしかた・抜き方

「注射針」を注射する部位に近付け、素早く、深く刺します。2～3分かけてゆっくり、「プランジャー」を最後まで押し込みます（少なくとも30秒以上かけて注入してください）。薬液が完全に注入されたら皮膚をつまんだ手を離し、刺したときと同じ角度でそっと「注射針」を引き抜きます。「注射針」を抜いた後は、注射した部分をガーゼ又は綿でしばらく押さえます。

注射した部位は揉まないでください。腫れることがあります。

- ・薬液が完全に注入されるまでは抜かないでください。
- ・一度で薬液をすべて注入するようにし、二度に分けて注入しないようにしてください。
- ・ガーゼ又は綿はフィラジル®とは別に医療機関から渡されます。



- ・使用済みの「注射針」は絶対に使用しないでください。
- ・誤って針で手などを刺さないよう注意してください。
- ・あざや腫れ、傷や痛みのある場所のまわり5cm程度は注射を避けてください。

自己注射の手順

※フィラジル®のご使用にあたっては、必ず主治医の指示にしたがってください。

準備

注射

注射後

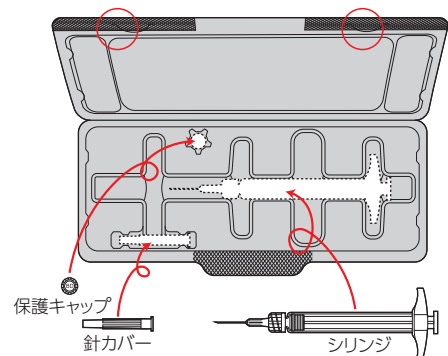
● 廃棄

- ①注射をし終えたシリンジは、注射針が付いたまま、シリンジの向きをシリンジトレイの凹凸と一致させて収納します。
シリンジは、カチッとハマるまでシリンジトレイに押し込んでください。このとき、針カバーを注射針に戻す必要はありません。
保護キャップ、針カバーも、所定の位置に収納します。
トレイのフタを閉める際には、2カ所のツメでしっかりとフタをしてください。
- ②次回通院時に、使用済みの注射が入った「シリンジトレイ」を持参し、医療機関にて廃棄してもらってください。



- ・誤って針で手などを刺さないよう注意してください。
- ・お子様の手の届かないところに保管してください。

シリンジトレイが廃棄用の容器となります。



● 注射後の体調

もし、注射した後にいつもと違う体調の変化を感じたら、すぐに主治医に連絡してください。

重篤な過敏症 (頻度不明[※]):

アナフィラキシー等の重篤な過敏症があらわれることがあるので、全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、息苦しい、動悸などの症状が認められた場合には速やかに投与を中止し、主治医にご確認ください。

注：海外の市販後の使用経験により報告されている副作用のため、頻度不明。

注射部位反応：赤くなる、腫れる、熱くなる(熱をもつ、火照る)、かゆくなる、痛くなる など

● 治療日誌への記録

注射が終わったら、注射した日付とそのときの様子を記録してください。この記録は、診察時に主治医にお持ちください。

● のどに発作が起きたとき ●

HAEの発作による腫れやむくみは、のどに起きることがあります。また、顔面に起きた腫れやむくみがのどに移行することもあります。のどの腫れにより、窒息する可能性がありますので、このような場合には直ちにフィラジル®を注射し、注射後に必ず受診するようにしてください。



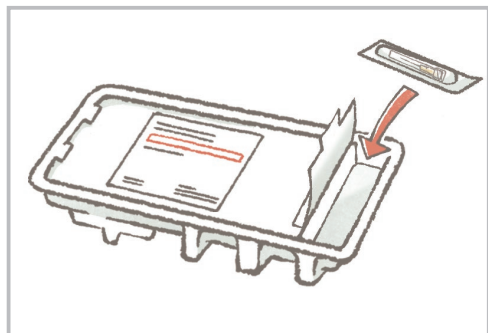
適切な管理

フィラジル®皮下注30mgシリンジ(フィラジル®)は、発作が起きたらすぐに必要になりますので、日頃から適切に管理してください。

● 保存方法

フィラジル®は、2～25℃で保存してください。

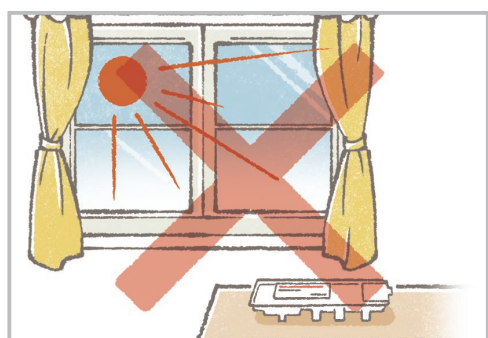
※夏場などに冷蔵庫に入れて保存している場合、薬液が冷たいまま注射すると痛みを感じる可能性があります。そのような場合には、注射前に薬液を常温に戻すことをおすすめしますが、発作時、急を要する場合には直ちに注射することを優先してください。



注射針と一緒に保管してください。



凍らせないでください。



直射日光に当てないでください。



お子様の手の届かないところに保管してください。

● いつでも使えるように

- ・ 自宅では、手の届くところに
- ・ 外出時には携帯する
- ・ 注射針と一緒に保管

● 携帯するときのポイント ●

携帯する場合には、事前に主治医に相談してください。必ず、注射針と一緒に携帯してください。

- ・ 注射器に強い衝撃は与えないでください。
- ・ 夏場に持ち歩く場合には、保冷バッグなどに入れるようにしてください。
- ・ 飛行機内に持ち込む場合には、所持品検査などのトラブルを避けるため、事前に機内に持ち込むことを航空会社に連絡しておきます。治療薬の携帯証明書*を主治医に書いてもらっておくと、説明の際に安心です。

※海外旅行の場合には、英文で遺伝性血管性浮腫の治療を受けていること、使用している薬剤、緊急連絡先などが記載してあるものを携帯していると便利です。あらかじめ、主治医に記載してもらい、いざという時に備えましょう。

*この書式は、フィラジルの情報サイト(<https://www.firazyr.jp/patient/support/download.php>)からダウンロードできます。



HAEの悩み解決をサポート

HAE患者さんご家族のためのアプリ



HAEノート



iPhone & Android



App Store
からダウンロード



Google Play
で手に入れよう

診察日や症状を記録し、写真やグラフで過去の症状を確認できます。アップデートにより、QOLの記録もできるようになりました。ファミリーツリーを作成する機能もあります。



もっとHAEについて知る

遺伝性血管性浮腫 (HAE) の情報サイト

腫れ・腹痛ナビ



www.harefukutsuu-hae.jp/

腫れ・腹痛ナビは、HAE（遺伝性血管性浮腫）についての情報サイトです。症状、診断、治療、医療費助成制度について詳しく解説しています。症状チェックシートでセルフチェックを行うこともできます。



※画像はイメージです。

医療機関名



武田薬品工業株式会社